

	心をこめて精一杯活動実施中
	加古川市立 
	志方東小学校
	令和6年度
	道徳便り 第1号 R6.6.17発行

道徳便り「コンパス」を発行します

開かれた学校づくりの一環として、さまざまな学校情報をお届けするため、今年度も道徳便りを発行いたします。「よりよく生きる」を目標としている道徳教育において、毎週の道徳科授業はその「要」ともいえるべき時間です。6月上旬は、「自分・まわりの人・物を大切にすること」という共通テーマを設定して取り組みました。学期に1回程度、くらしの中で課題になったことをもとに共通テーマをつくり、各学年での取り組みを紹介させていただきます。学習内容について、ご家庭の中でも話し合いの機会をもっていただけたら幸いです。

1年生 がっこうのものは？ ※規則の尊重(みんなが使うもの)

ねらい…約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切に使う心育てる。



子どもたちが教室で活動している「絵」。学校のを大切にしている人もいれば、大切にされていない人もいる。本をやぶったり、ゆかに落としたりしている人、机にらく書きしている人、タブレットを大切に使用しない人。どうしてこういうことをしてしまうのか？一方で、ものを大切にしている人は、どんな気持ちで大切にしているのか？

- ふりかえり**
- ・ぼくは、がっこうのものをたいせつにしていきたいです。ばそこんとかをこわしません。
 - ・わたしはつくえには、らくがきをしません。がっこうのものをたいせつにつかいます。

2年生 かくしたボール ※規則の尊重(みんなが使うもの)

ねらい…約束やきまりの大切さを知り、みんなが使うものを大切にしようとする態度を育てる。



お気に入りのボールを植え込みの中に隠してしまう。昼休みになり、自分のお気に入りのボールで練習をしようと張り切ってボールをとりに行くと、植え込みをのぞいてボールを探している6年生がいた。その言葉に、主人公ははっとし、自分がしたことに気づいていく…。

- ふりかえり**
- ・きまりをまもることがだいじだとおもいました。 ・みんながつかうものをかくしたらみんなが、こまる。 ・学校にあるものは、大せつにつかう。
 - ・学校のは、かくしたりなくしたりしたらだめっていうのがわかりました。

3年生 みんなの学校なのに ※よりよい学校生活、集団生活の充実

ねらい…約束やきまりの大切さを知り、みんなが使うものを大切にしようとする態度を育てる。



用務員さんの落ち葉そうじを手伝ったぼく。でも、それをクラス数人に冷やかされ、心無いことを言われてしまう。それを聞いた女の子が「おかしい！」「みんなの学校をきれいにしただけなのに！」。翌朝、昨日と同じようにぼくと用務員さんが落ち葉そうじをしていると、その女の子、そして冷やかした友だちまでがやってきた。

ふりかえり

- ・大切だなあと考えたことは、みんなでしたら気持ちいいしみんなのためにしたら自分の気持ちもよくなるということです。
- ・ぼくのそうじ場所をおわったら友だちのそうじ場所をつだいたいと思いました。
- ・私は、もっともっとみんなと「パワーアップ!!」して、いい気持ちやスッキリな気持ちになったり、もっと優しくなりたいと思います!!!!
- ・感じたことは、今まで山田さんみたいな人に手伝いをできたことがありません。理由は、勇気だと思います。僕は、勇気がなくて恥ずかしがりなのであきらさんは、すごいなと思いました。

4年生 合い言葉は「話せばわかる!」※相互理解、寛容(わかり合うために)

ねらい…相手と互いに理解し合って、自分と違う意見も 大切にできる態度を育てる。



・外国から来たトムがそうじをしないことを注意する。その国の学校には掃除がなく、どうして掃除をしなくてはいけないのか分からない。そんなトムの立場で考えることで「わかり合う心」がつくられていく。後半は自分たちの生活で起こり得る出来事から、どう相互理解をはかっていくかを考え合った。

ふりかえり

- ・もし、友達が分からないことや、一人ぼっちだったら、「僕と一緒に(私)に頑張りましょう。」と声をかけてあげたい。ふわふわ言葉を使って話しかけたい。特に外国の転入生などに分からないことを教えてあげたいと思った。話すだけじゃなくて、行動に移したい。
- ・何かをやらない人には強く言うんじゃなくて、ちゃんと理由や人の気持ちもわかりながら言いたい。注意してもきつく言ったらいじめとかんちがいされるので「チクチク言葉」や「マイナス言葉」じゃなくて「ふわふわ言葉」「プラス言葉」を使いながら生活していきたい。これからの4年1組の合い言葉は「ぼく、わたし、みんなといっしょに頑張りましょう!!」を使ったら元気が湧いてくると思う。
- ・友達がしんどそうにしてたら「だいじょうぶ?」と声をかけてあげたらその友達も安心できるとおもいました。僕は、これからも友達が安心できるように、助けたい。
- ・しんどい人がいたら強い言葉を使ってしまうときは時々誰でもあると思うけど、この話を読んで色々な対策方法が書いてあったのでよくわかったし理解できたので良かった。これからの生活で活用できれば人を傷つけない事ができると思う。これからも話して優しく対応していきたい。

5年生 心のレシーブ ※友情、信頼(友情を深める)

ねらい…友達と互いに理解し合い、よさを認め合いながら人間関係を築いていこうとする心情を育てる。



バレーボールの得意な陽子が、同じチームの男子にやる気がないと不満をもっていた。しかし、運動の苦手な男子の練習試合の頑張りから、地道に真剣に練習をしていたことを知った。それまで決めつけた見方をしていたことに気づいて反省していく。

ふりかえり

- ・私も陽子みたいに決めつけたり、怒ったりしないように、ちゃんと相手の気持ちになって、注意したり助け合えたりしたらいいなと思った。私も直希さんみたいに、友達を守れるようになりたい。
- ・男子と女子が協力するには、お互いに決めつけた見方をしない事が大事なんだなと思った。女子と男子が協力したらいいチームができるんだと思った。
- ・みんなが協力するために相手のことをわかり合ったりすることが大切だと思いました。みんなの悪いところを見るんじゃなくていいところを見ていくことで相手のこともわかってくると思った。

6年生 言葉のおくりもの ※友情、信頼(友情を深める)

ねらい…性別にこだわらず、互いに尊敬し合って友情を深め、よりよい人間関係を築いていこうとする態度を育てる。



すみ子と仲のよいところをたかしに見られ、からかわれたり周りに言いふらされたりするのをいやがる一郎は、すみ子をわざと避けようとする。小さなことにこだわらない 明るい性格のすみ子は、たかしのリレーでの失敗を許し、一郎の誕生日にはすばらしい「言葉のおくりもの」をする。男女を超えた友情のあり方について考え合った。

ふりかえり

- ・もっとより良いクラスにするために、ひとりひとりが相手のことを思いやり、優しくし、男女関係なく平等に過ごすことが友情を深める事ができるとわかった。優しい心を高め合い、自分のクラスも、最高のクラスにしていきたい。
- ・私はこれまで、友情について深く考えたことや、自分たちのクラスを、今以上により良いクラスに上げていこうと思いませんでしたが、「言葉のおくりもの」から、すみこさんのようにみんなに、希望をもたらすような声掛けをしていきたいと思いました。他にも私がドッジボールで負けたときなど、失敗したときに、責めずにやさしく、なぐさめてくれたのがとても、こころが温まったので、私も、そんな友達のように、ひとりひとりに、温かい言葉をかけて、お互いを心から尊敬し合えるような、よりよいクラスにしたいと思った。
- ・私は、友達を思いやること、優しく接していくこと、みんなで協力することが、友情を深めることができるということを、改めて学んだ。その友情を深めていくのは、一人が意識するのではなく、一人ひとりがどうしたらいいのかを意識していくことが大切だとこの学習から思った。これからも、男女関係なくお互いを尊敬し合える、そんな一日一日を楽しく過ごしていきたい。
- ・この学習をしてみて、私達のクラスも、いつの間にか、男女が協力し合うことが減ってきたのかなと

気付かされた。みんなで協力しながらすることは、達成したとき、みんなで頑張ったことを実感することができるので、これから、みんなで助け合い、協力していくことを、意識しながら、学校生活を送りたい。自分が失敗したときに、すみ子さんのように、優しく声かけをしてもらったら、必ず安心して、もっと良い学級をつくることができそうだと思った。

なかよし おもてなし ※自立活動

ねらい…お客様にお茶を出すことを通して、相手の気持ちを想像したり、おもてなしについて考え、行動しようとする態度を育てる。



お茶の入れ方を練習したり、利休七則（おもてなしのしかた）をもとに相手視点で考えたりした。それぞれに「この先生におもてなしをしたい」と言って、出すお茶を自分で選んで実際に最後までおもてなしをすることができた。

ふりかえり

- ・ティーバッグのお茶を入れるのをがんばりました。
- ・おいしいと言ってもらえてうれしかったです。またおもてなしをしたいと思います。

なかよしと1、2年生が交流 ※相互理解

なかよし学級教室で1年生や2年生が実際に行って、一緒に体験したり、交流したりしました。

1年

一人ずつ自己紹介とあいさつをしました。「〇〇です。よろしくお願いします。」と言って軽く会釈をし、お互いを大切に思う気持ちが伝わってきました。

2年

大型テレビを使って自己紹介をしたり、自立活動の体験をしたりしました。最後はお茶を入れて「おもてなし」です。2年生の人たちが、温かいお茶を飲んで、「おいしいね。」「すっとした。」と言ってよこんでくれました。落ち着いた雰囲気の中で心が通いあう時間となりました。



人権ポスターを描きました



全校生で人権ポスター制作に取り組みました。一人一人真剣に作品づくりをしていて、人権について考える良い機会となっています。さらにそのポスターが、人権啓発活動につながっていきます。